

Ⅲ 文学部で取得できる資格

日本語教員養成課程

本学における日本語教員養成課程は、日本語を母語としない人たちに日本語を教える人材を育成する目的で開設されました。学士の学位が授与されることを基礎的要件として、所定の単位を修得した者に修了証書が授与されます。ただし、免許や資格については、現在のところ教員免許のように「公的」な資格を授与する制度が社会的に確立されていません。また、修了証書が直接的に日本語教員としての就職につながるわけではありませんのでご注意ください。

1. 受講登録年次及び履修期間

- (1) この課程の初回受講登録出来る学年は、原則として1・2年次です。ただし、編入生については3年次も受講登録可とします。この課程の修了には2年を要するため、4年次は受講登録できません。(編入生以外でも3年次の受講登録が可能な場合があります。3年次受講登録を希望する場合、本課程の教員に相談すること。)
- (2) 履修期間は、原則として1・2年次、または2・3年次の2年間となります。したがって、受講登録もそれぞれの学年におこなわなければなりません。

2. 履修方法

本課程は原則的に2年間で全科目を履修することを前提に構成されており、履修方法として、二段階制をとっています。ただし、修了に要する年数については、学生の時間割編成上不都合が生じた場合はこの限りではありません。

(1) 1年次から履修した場合

- ・ 1年次 (第一段階)

『言語と教育』以外の4つの区分の科目の中から、必修科目である「日本語文法」と「音声学」を含む14単位以上を履修します。ただし区分『言語と教育』の科目は履修できません。

- ・ 2年次 (第二段階)

区分『言語と教育』の単位(10)すべてと、その他の区分の残りの単位を修得します。ただし、『言語と教育』以外の4つの区分の科目の中から、必修科目である「日本語文法」と「音声学」を含む14単位以上を充たしていなければ、第二段階に進むことはできません。

(2) 2年次から履修した場合

- ・ 2年次 (第一段階)

上記(1)の1年次(第一段階)と同様です。

- ・ 3年次 (第二段階)

上記(1)の2年次(第二段階)と同様です。

(3) 編入学した3年次から履修した場合

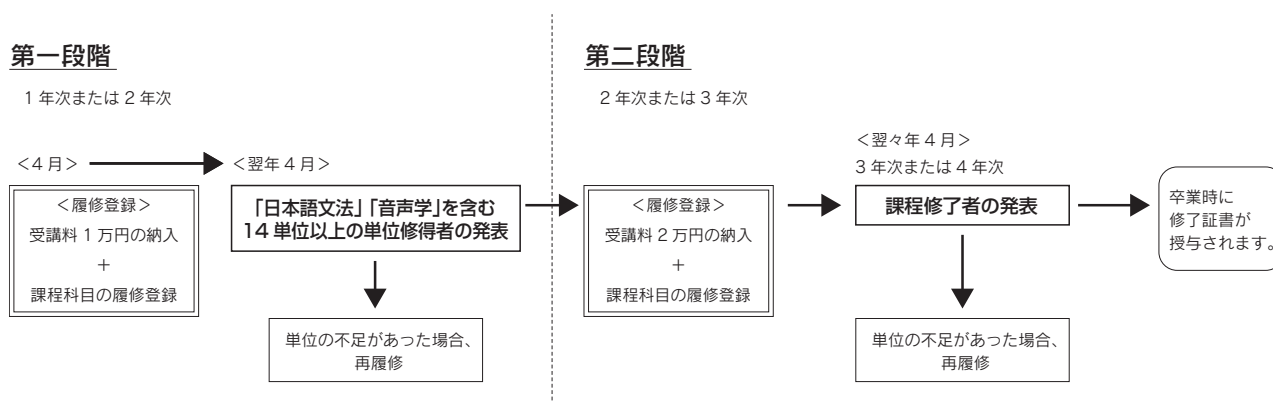
- ・ 3年次 (第一段階)

上記(1)の1年次(第一段階)と同様です。

- ・ 4年次（第二段階）
上記(1)の2年次（第二段階）と同様です。

3. 受講登録

4月の定められた期日までに、所定の用紙により受講登録を行うこと。



4. 受講料

受講料は、初年度1万円、次年度2万円合計3万円です。

納入方法は二段階になっており、登録初年次に1万円を納入し、必要単位数充足が確認された者は、翌年残金2万円を納入してその他の必要単位数を修得するというシステムになっています。また、受講料納入後の払い戻しはできませんのでご注意ください。

日本語教員養成課程に関する科目

日本語教員養成課程の授業科目は、次の教育課程表に示した必修科目及び選択必修科目に区分されます。日本語教員養成課程の修了要件は、学士の学位授与の認定要件を充たすと同時に、次の区分別に定められた必修 14 単位、選択必修 20 単位、合計 34 単位以上を修得しなければなりません。

区分	科目 No.	授 業 科 目	単 位		開講学年・週時数								開設学科	備 考	
			必修	選択	1 年		2 年		3 年		4 年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
言 語	N 0171	日本語文法 a	2		2		2							* 課程	} 8 単位以上選択必修 日本語表現法 A - a、A - b は国語教職課程履修者のみ履 修可能
	N 0181	日本語文法 b	2			2		2						* 課程	
	N 0031	音声学	2			2		2						* 課程	
	N 0061	対照言語学		2	2		2		2					* 課程	
	N 0071	日本語コミュニケーション技法	2	2			2		2					* 課程	
	※	言語学概論 a		2										英文	
	※	言語学概論 b		2										英文	
	※	言語学講義 A		2										英文	
	※	言語学講義 B		2										英文	
	※	翻訳ワークショップ A - a		1										英文	
	※	翻訳ワークショップ A - b		1										英文	
	※	翻訳ワークショップ B - a		1										英文	
	※	翻訳ワークショップ B - b		1										英文	
	※	日本語学 A - a		2										日文	
	※	日本語学 A - b		2										日文	
	※	日本語学 B		2										日文	
	※	日本語学 C		2										日文	
	※	日本語表現法 A - a		2										日文	
	※	日本語表現法 A - b		2										日文	
	※	日本語表現法 B - a		2										日文	
	※	日本語表現法 B - b		2										日文	
	※	日本語学概論 a		2										日文	
	※	日本語学概論 b		2										日文	
	※	日本語学研究 A - a		2										日文	
	※	日本語学研究 A - b		2										日文	
	※	日本語学研究 B - a		2										日文	
	※	日本語学研究 B - b		2										日文	
	※	日本語学研究 C - a		2										日文	
	※	日本語学研究 C - b		2										日文	
	※	日本語学研究 D - a		2										日文	
	※	日本語学研究 D - b		2										日文	
	※	日本語学研究 E - a		2										日文	
※	日本語学研究 E - b		2										日文		
※	日本文化とアジア C - a		2										日文		
※	日本文化とアジア C - b		2										日文		
※	日本語学演習 I A		4										日文		
※	日本語学演習 I B		4										日文		
言 語 と 社 会	N 0251	社会言語学 a	2	2			2							* 課程	} 4 単位以上選択必修
	N 0261	社会言語学 b	2			2		2						* 課程	
	※	異文化コミュニケーション		2										教養	
	※	コミュニケーション概論 a		2										英文	
	※	コミュニケーション概論 b		2										英文	
	※	異文化コミュニケーション論入門		2										文化総合	

取
文
得
で
学
び
可
い
部
分
の
資
格
で
教
育
課
程
表

区分	科目 No.	授 業 科 目	単位		開講学年・週時数								開設学科	備 考
			必修	選択	1年		2年		3年		4年			
					前	後	前	後	前	後	前	後		
言語と社会	※	異文化コミュニケーション論特講 a		2									文化総合	
	※	異文化コミュニケーション論特講 b		2									文化総合	
	※	異文化コミュニケーション論特講 c		2									文化総合	
	※	異文化コミュニケーション論特講 d		2									文化総合	
	※	法学特講A-a(コミュニケーションと法)		2									文化総合	
	※	法学特講A-b(コミュニケーションと法)		2									文化総合	
言語と心理	N 0081	第二言語習得概論		2				2		2			* 課程	2 単位以上選択必修
	※	心理学		2									教養	
	※	心理学入門		2									文化総合	
	※	心理学特講A-a		2									文化総合	
	※	心理学特講A-b		2									文化総合	
	※	心理学特講A-c		2									文化総合	
	※	心理学特講A-d		2									文化総合	
	※	心理学特講B-a		2									文化総合	
社会文化地域	※	文化人類学		2									教養	4 単位以上選択必修
	※	国際関係論		2									教養	
	※	国際理解教育		2									教養	
	※	日本国憲法		2									教養	
	※	日本史A		2									教養	
	※	日本史B		2									教養	
	※	古典文学A		2									日文	
	※	古典文学B		2									日文	
	※	古典文学C		2									日文	
	※	近現代文学A		2									日文	
	※	近現代文学B		2									日文	
	※	近現代文学C		2									日文	
	※	日本文化A		2									日文	
	※	日本文化B		2									日文	
	※	日本文化C		2									日文	
	※	日本文化D		2									日文	
	※	日本文化E		2									日文	
	※	日本文学概論 a		2									日文	
	※	日本文学概論 b		2									日文	
	※	古典文学研究A-a		2									日文	
	※	古典文学研究A-b		2									日文	
	※	古典文学研究B-a		2									日文	
	※	古典文学研究B-b		2									日文	
	※	古典文学研究C-a		2									日文	
	※	古典文学研究C-b		2									日文	
	※	古典文学研究D-a		2									日文	
	※	古典文学研究D-b		2									日文	
	※	古典文学研究E-a		2									日文	
	※	古典文学研究E-b		2									日文	
	※	近現代文学研究A-a		2									日文	
	※	近現代文学研究A-b		2									日文	
	※	近現代文学研究B-a		2									日文	
※	近現代文学研究B-b		2									日文		
※	近現代文学研究C-a		2									日文		
※	近現代文学研究C-b		2									日文		

取
文
得
で
学
び
可
る
部
分
の
学
修
履
歴

教
育
課
程
表

区分	科目 No.	授 業 科 目	単 位		開講学年・週時数								開設学科	備 考	
			必修	選択	1 年		2 年		3 年		4 年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
社 会 文 化 地 域	※	近現代文学研究D - a		2										日文	
	※	近現代文学研究D - b		2										日文	
	※	日本思想史 I		2										日文	
	※	日本思想史 II		2										日文	
	※	日本文化論A - a		2										日文	
	※	日本文化論A - b		2										日文	
	※	日本文化論B - a		2										日文	
	※	日本文化論B - b		2										日文	
	※	日本文化論C - a		2										日文	
	※	日本文化論C - b		2										日文	
	※	日本文化論D - a		2										日文	
	※	日本文化論D - b		2										日文	
	※	日本文化論E - a		2										日文	
	※	日本文化論E - b		2										日文	
	※	日本文化論F - a		2										日文	
	※	日本文化論F - b		2										日文	
	※	書道史 a		2										日文	
	※	書道史 b		2										日文	
	※	書論・鑑賞 a		2										日文	
	※	書論・鑑賞 b		2										日文	
	※	文化人類学入門		2										文化総合	
	※	政治学(国際政治学)入門		2										文化総合	
	※	国際関係論入門		2										文化総合	
	※	基礎法学A(憲法)		2										文化総合	
	※	基礎法学B - a(民法)		2										文化総合	
	※	基礎法学B - b(民法)		2										文化総合	
	※	基礎法学C - a(国際関係法)		2										文化総合	
	※	基礎法学C - b(国際関係法)		2										文化総合	
	※	国際関係論特講A - a		2										文化総合	
	※	国際関係論特講A - b		2										文化総合	
※	国際関係論特講A - c		2										文化総合		
※	国際関係論特講A - d		2										文化総合		
※	法学特講B - a(比較政治制度)		2										文化総合		
※	法学特講B - b(比較政治制度)		2										文化総合		
※	日本史入門A(概論)		2										文化総合		
※	日本史入門B(概論)		2										文化総合		
言 語 と 教 育	N 0101	日本語教授法 I	2				2		2				* 課程	} 2 単位以上選択必修 II は海外実習、4 年次履修不可	
	N 0111	日本語教授法 II	2					2		2			* 課程		
	N 0121	日本語教育概論 I	2				2		2				* 課程		
	N 0131	日本語教育概論 II	2					2		2			* 課程		
	N 0231	日本語教育実習 I		2					3		3		* 課程		
	N 0241	日本語教育実習 II		2					○		○		* 課程		
		計	14	256									34 単位以上		

注1. 区分「言語と教育」の科目は、必修科目である「日本語文法 a」「日本語文法 b」「音声学」を含む 14 単位以上を充足していなければ履修できません。

注2. 日本語教員養成課程独自に開設している科目は、卒業要件として加算されません。
(開設学科欄に* 課程と表示している科目)

※印は、開設学科の教育課程表を参照。

日本語教員養成課程

文学部日本語教員養成課程は、日本語を母語としない人たちに対して日本語を教えるために必要とされる内容の科目における単位修得をめざす課程です。

1. 修了書

日本語教員養成に関する授業科目 34 単位以上（必修 14 単位、選択必修 20 単位以上）を履修した学生には卒業時に日本語教員養成課程の修了書が授与されます。

2. 授業科目

- ・ 授業科目は、必修科目と選択科目に分かれています。
- ・ 必修科目はすべて履修しなければなりません。
- ・ 必修科目の日本語教授法Ⅰを履修しなければ、日本語教授法Ⅱ、日本語教育実習ⅠおよびⅡは履修できません。
- ・ 選択科目は、5つにわけられた区分にある科目群から、指定された単位数を履修しなければなりません。

3. 選択科目の読み替え科目について

課程独自の科目を履修することが望ましいが、履修単位の負担を軽減するために、読み替え科目を設置しています。（読み替え科目については、p.235～p.239 記載された日本語教員養成課程の説明を参照してください。）

- ・ 学科科目のうち「言語」、「言語と社会」、「言語と心理」、「社会・文化・地域」に設置されているものは、日本語教員養成課程の内容にふさわしいと考えられるものが読み替えられています。
- ・ 読み替え科目は基本的に学科科目ですので、場合によって他学科の学生は履修できないものもありますので、ご注意ください。
- ・ 読み替え科目は、日本語教員養成課程の単位としても、また学科科目の単位としてもカウントされます。